

会 議 録

会議の名称	第7回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校 開校準備委員会		
開催日時	令和5年3月28日（火） 開会 18：30 閉会 21：15		
開催場所	つくば市役所2階 203会議室		
事務局（担当課）	教育局 学務課		
出席者	委員	井上拳吾、金子朋子、本田千鶴、松本麻衣 谷池真彦、木ノ内富美代、岡村直之、別府孝泰 関美智子、牧野祐一、谷山友香	
	事務局	教育施設課課長 鈴木聡、学び推進課指導主事 原野智子 学務課課長 下田裕久、学務課課長補佐 川又文江 学務課係長 中山美希、学務課主任 工藤麻貴 学務課主任 篠原周平、学務課主事 白土直也	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由			
議題	（1）校章デザインアンケートの結果及び選定について （2）制服・体操服について		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 議事 （1）校章案デザインアンケートについて （2）制服・体操服について 3 その他 4 閉会		

<審議内容>

1 開会

事務局：ただいまから第7回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。

本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイクの下スイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。

委員長：よろしくお願いいたします。それでは、会議を進行させていただきます。傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：傍聴人はいません。

委員長：傍聴人はいらっしゃらないようなので議事に入りたいと思います。まず、(1)の校章デザインアンケートの結果及び選定についてですけれども、事務局から説明をお願いします。

事務局：はい、事務局です。それでは校章デザインアンケートの結果及び選定についてということで、資料1、資料2の説明をさせていただきます。まず資料1の方になります。今回3月28日、第7回委員会で、校章案の決定の予定をしております。3月9日木曜日から3月16日木曜日の方で、校章デザインアンケートの方を実施いたしました。こちらの結果が資料2の方になっております。資料2を見ていただきますと、下の方に表があります。縦の列がそれぞれ①、②、③のような形で、それぞれの案の方で、横に1年から3年、4年から9年など属性別の方になっております。例えば1年生から3年生で縦で見ていただいた時に色が付いている部分がありますが、こちらの方が、1から6の中で最も票数が多かったところに、色を付けさせていただいています。こちらの結果の方は一番右を見ていただきますと、すべて合計した数になっていまして、最も票数を得たものが⑤番の258票の方になっております。まず(1)番の議事の方では、こちらの資料2の方を参考にさせていただいて、校章デザインの最終選定の方を進めてい

ただければと思います。それでは議事の進行を委員長にお願いいたします。

委員長：はい、それでは票数等見ていただいたの検討になるんですけども、選定の決定方法については、話し合っていなかったと思うんですね。なので、確認をしておきたいと思うんですけども。実際に付けるかどうかかわからないけども、学校のしるしとして子供たちが喜んで、これが校章だよっていえるものを選定すべきだと私は思っています。ですので、できるだけ子供たちの、在校生の票数を中心にいき、次に保護者、最後に地域の方というように子供たちの意見、保護者の意見を重視して考えるのがベストかと思うんですけども、それはそれで大丈夫ですか。はい。そうしますと、表を見ていただいて、感じるころがあると思うんですけども。これを見て、ちょっと考察していただいて、ご意見いただきたいと思うんですけども、ちょっとしばらく眺めて考察等まとまった方は挙手をお願いいたします。はい、じゃあお願いします。

委員：委員長のおっしゃったことを踏まえて、1年から3年及び4年から9年を中心にみていくと、まず1年から3年の第1位が3番。それに対する、4年から9年の3番の順位は3位。4年から9年の1番は1と5。それに対する1年から3年の順位を5が3位。1が4位。この1年から3年、4年から9年のどちらを見るかによって、なかなか導きにくいなど。結局、ぱっと見たところ、いろいろ色合いを見ると、5番が1から3年を除いて第1位にきているので、5番を取って、1から3年生の満足度はどうかというところ、第3位。ここが1年から3年生のみんなに納得していただけるかというところなのかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。いかがですか。はい。

委員：まず1年生から3年生はこれ、低学年ってなっているんですが。4から9っていうことで、高学年と多分中学校も入っている形になってしまっていて。その4から9の方を分析したら同率ばかりになっていて。そもそも

の人数、4から9の方が学年は多いんですが、投票した数は1から3年生の方が多いいって言う。偶然こうなってしまったのはあれなんですけど、時間があれば、この上位に出てきたやつでどっちがいいですかとか聞ければ、なおいいとは思いますが、もう時間がないので、これは相当難しいのかなって思います。はい。

委員長：うん。お願いします。

委員：これ、まず、子供の数だけで見ると、1か3か5なのかなっていうところで見ているんですけども、そのトータルを見たときに、当然5が一番多いいって言うのはこの表でわかると思うんですけども。3もそんなに大差がないのかなというふうな感じを受けていまして。3か5の中でどっちを優先すべきなのかっていうところで決めていくって言うのはどうでしょうか。

委員長：他、いかがですか。はい、お願いします。

委員：在校生の数字、1年生から3年生と4年から9年生、この数字どちらも足してみたんですけどもそうすると1位が3番ということで、2位が109票で6番になる。ですね。在校生だけ考えると、3番。どちらも足すとですね、在校生だけにすると。今度保護者の方在校生の保護者と新入生の保護者の方を足してみると、1位が5番、2位が6番みたいな感じになっていて、またこれちょっとばらせるので難しいところではあるんですけども。はい。

委員長：他。ちょっと考察を言ってみてもいいですか。2番と4番は、これ票数を見ると子供も保護者の意見も、ちょっと反映できてないのかなって思うんですよね。少なくて。だから考えるのは1、3、5、6で考えればいいのかって思いました。1から3年生は3と6なんですよ。3と6は形が同じなんですよね。だから圧倒的にこの形が好きなんです1から3年生は。より判断力のある4年生から9年生と在校生保護者と新入生保護者は、

1と5なんですよ。これは何か考えがあって投票したんだなってみると、これ、制服に付けるワッペンをイメージして、そのイメージから1と5を選んだんじゃないかなって思うんですね。だから、そういうことです。そして、子供の意見の合計だけ見ると、3と6番が多いですよ。これはだから、票数を稼いでいる1年生から3年生のあまり、何かいろいろ考えずに、この形がいいなこの色合いがいいなって思った票が在校生を足し算すると反映されちゃうんですね。なので、より判断力のある人達の意見が5。これ良くなってインスピレーションで選んだのが3。ということになり、もっと言うと、制服のワッペンにつけるかどうかで決めればいかなって自分は思いました。制服を考えてワッペンをつける、制服にワッペンを付けるってここで決まれば、じゃもう必然的にこうだね。いや、制服にワッペンを付けない。純粹にこの校章で6年間と3年間の学校生活を楽しまたいって思ったら、3番。在校生の合計が28.5で一番多いんだから3番を選べばいいと思います。どうでしょうか。はい、お願いします。

委員：先日、みどりの学園のみどサポの会議がありまして、その際に制服と体操服についてメンバーに聞きまして、その際に今、校章のデザインですけども先生がジャケットのお話が出たので、ちょっとここで、先に言わせていただくと、やっぱりジャケットにはワッペンを付けたい。もしくは校章ピン、この襟、もしジャケットにするのであれば、校章ピンもいいよねっていう案が出ましたので、やっぱりジャケットにワッペンをつけて、或いは校章ピンを付けてという保護者の方々のご希望が多いということなので、そのことを踏まえると今、委員長がおっしゃった、5番が、いいのかなとは思いました。はい。

委員長：はい。他にありますか。はい。お願いします。

委員：はい。私も皆さんの意見を聞かせていただいて、得票率で色が付けられているところを見ると、1、3、5。特に5が保護者も含めて、票数が多

いかと思うんですけれども、子供たちのトータルでいくと、当然6も多くなるんですけれども、先ほど委員長もおっしゃられていましたが、子供の意見をまず最優先して決めるっていうところを見たとしても、全く保護者の方の意見を取り上げてないのもどうなのかなとも考えます。あとはやはり、これを見た時にきっと5番のデザインについてはそういうワッペンとかそういうことも考えてのデザインの選択なのかなということも考えられます。ですので、そのトータルとしては、やはり5番辺りが子供たちの意見も反映している。そして保護者の方の意見も、在校生、新入生、通学区内の方も含めて反映されているので、トータルでいくと、5番がいいのかなというふうに個人的には思います。以上です。はい。

委員長：他、どうですかね。

委員：前々回の話し合いの中での記憶で小学校と中学校は少し、全く同じでないもの。谷田部南小学校からみどりの南中学校に上がってくる子供たちも考慮に入れて、完全にその小中一貫ばい流れにならないようなものにしようっていう話があったと記憶しているんですけれども、もしそのコンセプトをまだ大事にしようと、生きているのであれば、5番の方が、ある意味その小学校と中学校の連続性がさほど3番ほどは意識されないと、というような見方もできるかなと思いました。あともう1点これ個人的な趣味かもしれないませんが、ピンクと緑っていうのは、色としてここを手を入れられるかわかんないんですけども、何か男女っていうイメージは何か強く感じて少し個人的には抵抗がありますので、その辺りのこの色合いについて皆さんの考えをちょっとお聞きしたいなど。もし5になるならばですけどもと思いました。

委員長：他、ありますか。子供たち、それから投票してくれた在校生保護者、新入生保護者等の意見も考えて、総合的に考えると5番なのかなと言うふうに思います。ただ、子供たちだけだと、やっぱり3がすごくすごくでも

ないか。全体のそうですね。21.9か。21.9%で20%超えているのはこれだけだから、これも大事にしたいなというふうには思います。こっちって決められないので、やっぱり制服検討の時に、エンブレムとしてその制服に付けるのかどうかっていうところで、判断したらいいんじゃないかなって思います。付けるなら、それを想定して考えたであろう5。いや、付けな
いってなれば3もあり得るのかなっていうふうに思います。はい。なので
ちょっとここで結論ちょっと送って制服の方に行きたいんですけどもその
5になったときにピンクと緑っていうのは、はい、お願いします。

委員：前回欠席されたということなんですが、資料でいただいている、前回の
時にですね、校章デザイン一覧のところのデザインアンケート用紙のデザ
イナーさんがどういう思いでこれを作られたかっていうところに、このピ
ンクは女性とか男性ではなくて、谷田部南小のシンボルである桜色を取り
入れているっていうふうに説明が書かれていまして、なので、パッと見た
ら男の子と女の子という感じになるかもしれないんですが、一応多分自然
の緑と桜のピンクなのかなと。

委員：はい。失礼しました。わかりました。ありがとうございます。

委員長：はい。お願いします。

委員：今票数見ると、3と5で迷っているというか3と5で競っているという
ふうに見受けるんですが、3と6に関しては多分真ん中にみどりの南小と
か、その文字が入ってるか入ってないかで判断して、入ってる方がいいか
なっていう判断になってるっていうのも取れるので、3と6ってそんなに
大差がないというか、どっちもいいんだけど、強いて言うなら、名前が入
ってた方がちゃんと小学校と中学校がわかるよねっていう感覚で小学生は
選んでるのかなっていう感想があるんですね。あと、はい。あと、エンブ
レムにするからっていう感覚で、ちょっと何だろうしっかり状況が掴めて
いる大人の方とかは5が多いのかなっていう委員長のお話があったんです

けれども、ちっちゃい子も、その校章になるならないってわかってないわけじゃないんじゃないかなと、そのスタイルとして、これがいいって思ったのが反映されているので、特にエンブレムにするからこれとかっていう感覚で選んでるわけでもないのかなっていうふうにちょっと思いました。はい。以上です。

委員長：先ほどの私の憶測です。簡単に言うとだから1年生から3年生はこの形が好きなんですよね。パッと見て、同じじゃないですか3と6って。形的にはこれがやっぱり好きなんですよ。だから圧倒的に1から3年生はこれ。4から9年生とか保護者とか、1から3年生よりもより判断力がある人たちが5を選んでいる。これ、何か意味があるんじゃないかなって考えたときに、もしかしたらポケットに付けたい形だから選んだのかなっていうふうに考えられるんじゃないかなという話をさせていただいて、はい。そこからのスタートだったんですスタートでもないけど、はい。そういう感じです。はい。お願いします。

委員：先ほどおっしゃっていただいた通り、小学校と中学校は校章分けるっていうそのスタンスも多分生きてるとは思いますし、やはり、どうしても少数派になる谷田部南小としては、5番とかの方が何て言うのかな中学校で一緒になったよってというような一体感が出るんじゃないかなっていうふうな感じは受けますね。この3番とかでも当然デザインとしてはいいんですけども、みどりの南小の人は同じものをそのまま何か使うようなイメージになってしまうのかな。後からこう入った谷田部南小の数少ない10名ぐらいの子供たちが、それを見たときに、あれっていうふうにならなきゃいいなっていうふうな感じがちょっとあるので、5番、先ほど校章のワッペン付けるとか付けないとかっていう絡みも含めると、何かトータルで5番が一番もうバランスがいいんじゃないかなと私個人的にはちょっと思っています。

委員長：いかがでしょうか。

委員：はい、お願いします。はい。この学園制、小学校、中学校の子供たちが選んだ票数を純粋に考えると、5の順位は3番になると思うんですけども、ここ1から9年生のところは、純粋に子供たちが選んでいる数値だと思います。じゃあ、新入生保護者の方は保護者が選んでいるのかっていう数値かという、ここについては、保護者にスクリレで配信してしまして、その保護者と子供が一緒に選んでいるというふうに考えれば、この数値を足し算すると、実は5番が148票。3番が144歩で客観的に言っても、数値的には258票の5番が一番多いので、そのいろんな後ろ側を考えるとということも大事だと思いますし、考えなくても、数値的に言うと、保護者と子供が選んだ数値を入れると、5番が一番上になるのかなと私の方で思いました。以上です。

委員：私もここまでアンケートのこのデザイン6つのパターンを作るにあたって、大分審議の方もして、決めてきたことだと思います。それで皆さんのこの話を聞いていても、もう本当にトータルでやはり5番。うん。これでいいんじゃないかなと。というふうな自分的には思いがありますので先送りとかいう話もありましたけど自分的には先のこともあるので早く決めて、いきたいなという思いもありますし、5番がいいかなと思います。はい。

委員長：他ありますか。それでは先送りすることもなく、数値的にも、それから、校章のその意味っていうか背景的にも、5番がしっくりくるかなっていうことでよろしいですか。はい。それではこの新しい学校の校章については、5番ということで決定させていただきます。ありがとうございました。それでは次の議事でこれで決まったというときに、このとても小さい時のフォントの大きさとか、このあたりはもう適宜的というか、今後の調整の対象になるというふうに考えてもいいですか。例えば、制服につけるとか、

或いは、何か学校の旗を作るとかそれぞれ使い方違ってくると思うんですけど。制服に付けるとなったときに、ちょっと小さくて見えないから、もうちょっとバランスを変えていただくとか、その辺りは制作者の方と調整ができるということによろしいんですかね。これ事務局さん、いかがですか。

事務局：事務局です。今のお話って、例えば5番に決まりました。作っていた制作者に、もうちょっと文字を大きくしてくださいよって言ったところで、今度、コンペでメーカー決めますよね。文字を大きくしましたと言っても、メーカーさんがそれを大きくしても駄目ですよって言ったらどうにもならないので、まずメーカーが決まった段階で今の文字が可能なかどうか。もし大きくすればできるか。大きくしたほうがいいんですよっていう話になれば、校章の制作者の方とかけ合うべきじゃないかなと思いますけど、文字の大きさぐらいであれば、校章の方が校舎に付ける場合とかのことを考えてリミットがあるので、その校章を校舎に付けるときと結局文字が変わらないので、中身が大きくなるかどうかだけだったら、コンペでメーカーが決まってからでも、作った方との調整は出来るんじゃないかなと思います。この決まったものをもうちょっと何か入れてください、こうしてくださいっていうのは、早めにやらないと駄目なので、時期的なことを考えるとちょっといろいろあるかなと思いますけども、単なる文字を大きくする、小さくするっていうことは、そのワッペンを作る会社さんに聞いてみないと、現行でお答えができないかなとは思っています。

委員長： はい、お願いします。

委員： 今事務局の方がおっしゃられたように、あと色味もそのピンクってこの紙の上で出てるピンクなので、どんなピンクなのかっていうことも変わってくるから。緑ももちろんそうなんですけど。なので、とりあえず早く決めて、デザインを持ってきてもらって、もし少し変更があるのであればデ

デザイナーさんにこう変えてもいいですかって聞いて、ていうことになってくるのかなっていうふうに思ったので、早急に制服の業者さんを決めるところまでやってしまわないとゆっくりこの色味とか、デザインとかの見直しができないのかなと思いました。

委員長：はい。お願いします。

委員：以前、私も制服を着ている仕事ですというお話をさせていただいたんですけども、おそらくワッペンの方についても、刺繍にこだわらなければできると思います。ちょっとビニールっぽい素材で、多分抜くのかな、型抜きみたいにして多分できるので、結構細かい文字もできるのではないかなと、それはちょっと業者さんの方と確認してみないとわからないですけどもそういった方法もあるので、今ある程度ワッペンぐらいの大きさだったら十分読めるぐらいのものはできるのではないかなと思いますので、ちょっとその辺は業者さんを決めていく中で、どこまで業者さんができるのかっていうところを調整していけばできるのかなとは思っています。以上です。

委員長：はい、ありがとうございました。形をこれで決定して、業者さんの方をお願いして、できるだけ早くサンプルを作ってもらって、そこから調整があれば、調整していただく。デザインを大きく変更することはデザイナーさんはできないと思うので、文字、色味、そういったものが視覚的にきちんとしたものに調整していくっていうのはまたここでの仕事になるかなと思いますので、このままこれで進めていくでよろしいですか。

事務局：はい、よろしいですか。今画面上ちょっと見ていただくのが研究学園のなんですけど。文字的にちょっとサイズ感がこれ大分、今回の資料よりもちょっと大きくなっていますけど、あの文字の感じでワッペンは作れて文字は出たと思いますので、校章がこのデザインで決まった時には、デザイナーさんがこの色っていうカラーコードを作っているんで、カラーコードの何番っていうのはもらいます。ただ、今言ったように制服のワッペン

とか校舎に作る時って、そのカラーコード表のコードが必ずしもあるとは限らないので、ワッペンとかそういうものは、それに近いものをメーカーとかがやってくるようになりますので、業者さんと調整して皆さんにお伝えはできると思うんですけども、その辺の違いは出てきますけど、文字感的にはこれで今回できたようになっていきますので、これも多分いける話かと思えます。あとはメーカーさんと最終的な調整にはなります。今ここに書いてあるコード番号がありますので、色が全部コード番号で出てきて、指定されますので、その通りの形ではいきます。

委員長：はい、ありがとうございました。出てきたもので調整していくということで進めていきたいと思えます。ありがとうございました。大丈夫ですか。それでは議事の2番、制服・体操服についてになります。事務局から何か説明ありますか。

事務局：はい、事務局です。議事2番の制服・体操服についてということで、資料3、資料4の説明をさせていただきます。まず、資料3の方ですね。こちらは制服・体操服の選定スケジュールの方になっております。今回の制服・体操服について検討していただき、今回は前回の委員会から引き継ぎ前の学校で使っていたものの継続使用等についてと、前回あった体操服は小学校と中学校で同じ体操服にするかどうか。また制服の仕様について制服として作るものを完全に指定するのか、それとも標準として、似たようなものも大丈夫として幅を持たせるのか。またそのジャケットだけを作るのかジャケット、パンツのどちらも作るのかなどを、今回の委員会で決定するか、もしくはアンケートを取るか、アンケートを取って決定するかというのを決めていただければと思えます。アンケートを取る場合なんですけども、その場合はアンケートの対象、アンケートの期間と方法ですね、紙でアンケートを取るのか電子で取るのか。また、回答内容について、こういった設問を置くのかなども決定していただきたいと思えます。アン

ケートの参考になるんですけども、スクリーンの方をご覧くださいますとこちらの方が実際に研究学園の制服・体操服の方でアンケートを取った内容の方になっています。設問事項としましては、4番に行ってくださいますと、最初に保護者さんの名前だったりお子様の学年で住んでいる住所の方を選択するところがありまして、そのあと制服に関するアンケートに入っていきます。こちらの設問としましては、新しい中学校の制服について、ブレザー、スラックス、スカート、シャツなど、すべて指定のものがいいですか、もしくは一部指定のものがいいですか。という設問になってます。またこちら研究学園の開校準備委員会では、協議の結果、学校の一体感や統一化の観点からブレザーについては、指定ということで、協議の方が進んでブレザーとズボン指定するのか、一部指定にするのか。すべて指定の場合とかなども、コメント等を残せるようにと自由記述の欄があったり、一部指定にする場合なんかは、ブレザー以外でスラックス、スカートを指定にする。シャツを指定にする。ネクタイを指定にする。指定はなしなど、設問で選べるようになっておりまして、そのあとに一部指定が良いと回答された理由っていうのを記入していただいているアンケートの方になっています。新設中学校の制服について別の設問として最も重視することは何ですかということで、デザイン性、価格、動きやすさ、着心地等選べるようになっています。体操服も同じような感じで、アンケートの方を取っています。今回先ほどの説明が重複してしまうんですけども制服・体操服については、まず協議事項としましては、以前の学校で使ったものを継続使用を認めるかどうか。参考までに、香取台小学校と研究学園小中学校に関しましては、開校後すぐに新しいものに切り替えるわけではなくて、切り換えの時期は無期限で設けて、保護者の判断で新しいものに切り換えていくようになっています。協議事項の2つ目としましては小学校と中学校で同じ体操服を作るかどうか。また制服の仕様については、指定

のものにするのか表示するのか、どの部分を作るのかということで、こちらに関して委員会で決定するのかアンケートを取るのか。アンケートを取る場合は、対象期間方法、先ほどのスクリーンにあったように設問等の内容も決定していただきたいと思います。最後に保護者の方からの1つの意見としましては、アンケートを取る場合なんですけれども、こちらは学校関係者ですね、学校に関わるものになるので児童生徒と保護者に絞ってアンケートの方を取ったほうが良いというような意見がありました。事務局からの説明は以上になります。委員長、進行をお願いいたします。

委員長：ありがとうございました。それでは、項目ごとに確認をしていきたいと思います。まず前の学校の継続使用を認めるかということです。制服・体操服について。認めない理由ってありますか。はい。なさそうですね。期限を定める必要ってありますか。これもだから無期限でいいですよ、もう本当に。谷田部南小学校、それからみどりの学園。あと谷田部中のものも含めて、もうそのものが、この世に存在しなくなるまで、皆、もう作らなくなってなくなっちゃうまで使っていていいですよ。ということで前の学校の継続使用は認め、期限は設けないものとする。はい。ということになりますね。体操服は、小学校と中学校で同じものを作るか。別かです。あと学園のジャージをどう作るかってことですよ。はい。これはいかがですか。はい、お願いします。

委員：はい。小と中でジャージを例えば見たり、南学園、みどりの南と統一した場合、谷田部南小の子供たちが中学校に入ってきたときに、そのなんでしょう買い換えなければいけないっていう部分があるって前回のお話であって、みどサポの方でちょっと話し合ったんですけども中学校の方はジャージをまた別にするっていう方が公平性があっていいのではないのかなと。買い換えるっていうコスト的な部分あるんですけども、公平性という部分と、あと気持ちの切り換えという部分ではいいのかなというお話が

出ておりました。

委員長：はい、ありがとうございます。谷田部南さんはいかがでしょうかね。

委員：どちらかでいいのかな、もしみどりの南中学校と小学校が分かれるのであれば、現状でも構わないですし、それが逆にまた南小の方も合わせていく形。学園としての体操服っていうスタイルでもいいのかなというふうには私個人的には思いますので。そうすれば、どちらも同じような、例えば中学校に入るときに買い換えるのか、全部合わせておいて、どちらも負担感がないようにするのか。それはどちらでも構わないかなとは思いますが。ただ、以前お話した通り、もしかしたらそういう意見もこちらから出るケースも、ただ、もともと谷田部南小の人たちは中学校に行く時に変わっているんで、もうそれはみんなわかっているんで、そこまで抵抗感がある人は多分いないとは思いますが、やっぱりこう全体を見たときに、やっぱりそういう方も中には、いらっしゃる可能性もあるので、どちらかに合わせていただければ、うん、いいのかなというふうに思います。

委員長：これ。アンケート取った方がいいですか。はい、お願いします。

委員：先ほどのアンケートは、きっと前回にやって欲しいって出ていた内容のアンケートなんですよね。あれが出てこなかったんで、委員長が各自持って帰って宿題にしましょうっていうことで、ご近所さん、或いは PTA、うちだったらみどサポに聞いてみましようっていうことだったので、ここで今日その宿題を発表して、その決まった内容をアンケートにかけるのであれば、全然いいのかなと。なので、制服どうですかとか、そういうアンケートはいらないし。うん。もっと早くにできたのかなこれがわかってれば。先ほどおっしゃっていたのはこれきっとこれだったのかなと思います。

委員長：宿題を反映させたアンケートを実施するってことですね。はい。そうすると体操服については、学園として統一したものを作るっていうご意見も出てきているし、小中別っていう、考え方もあると、これみどサポの方

で話し合っていたいただいた内容もあるので、それを反映させたアンケートということですね。どんなものがいいですかじゃなくてね、どちらかっていうね、どちらか選択していただくようなアンケートを取るということで。ここだけではちょっと決められないですからね。はい。実際に着る子供たちや、その購入される保護者の方たちのご意見を反映させて、決定したいと思いますので、今言ったようなアンケートを取っていくということでもよろしいですか。体操服。ここでは同じ色を作るか別にするかは決定せずアンケートで行うということです。制服の仕様については、何かこう話し合ってきた内容いただいた内容はありますか。はい、お願いします。

委員：みどサポで一応聞いてきた内容と制服に関しましては、一番大きなのは新設校だから変革ということで、今までにない形で行きたいねっていうのが出てきまして、一番大きかったのはジャケットのワッペンや校章を決められているのはあと女の子と男の子のリボンタイですか。はい。ネクタイかもしれないんですけど、その辺を一定にして、あともうすべて自由に下のズボンとかスカートはある程度こういうチェックのとか紺色のチェックでとかそういうことはあるんですけども、あと自由、下に着るシャツもポロシャツとかでは、決められるのではなくて、白って決めてしまうだけ、襟付きとか、そういったもので決めてしまうっていうのがいいんじゃないかという意見が出ました。私自身もジャケットは好きなので、どこでも買えて、ワッペンだけしっかり買えるっていう方法がいいのではないのかなと思いました。

委員長：谷田部南小さんはどんな感じでしたか。

委員：保護者の皆様にお話したアンケート、学校独自でアンケートしたところ、やはり価格的なもの。金銭的な負担はできるだけ少ない方がいいというようなご意見とか、あとすべてかっちり全部、ジャケット、スラックス、スカートってふうに指定してしまうのではなくて、ある程度自由度があった

方がいいのではないかということ。あと、ご意見としては、リースのようなものを利用して、例えば破けてしまったとか、そういう場合に、替えが利くような制度があってもいいのかなんていうことも、ありました。はい。以上です。

委員長：そうすると確認ですけど、標準服っていうのは、作るんじゃないかっていう自由にジャケットを買ってくるっていうイメージですか。

委員：みどサポで出たのは、そのジャケットだけ女の子も、もう今ジェンダーなのでスカート履く子もいればズボン履く子もいますので下はプリーツとかそのボックスかもしれないんですけど、決めておいてジャケットだけを決める。紺色とか黒とか。はいそれをみんなが着る。それは例えばユニクロであろうが、アオキさんであろうが何であろうが良くて、ワッペンだけちゃんとつけていけば、OK だよっていうのがいいんじゃないかっていう意見でした。

委員長：じゃあワッペンだけはある。決まったものがあるんだけど、標準服じゃなくて、ジャケットも全部自分で見て、用意しなさいよ。だけど、形や色はおよそこういうものですよというイメージ。

委員：はい。女の子で想像すると、ズボンではなくスカート想像するんですが、上は紺色のジャケットをって決められていて、下がプリーツであれば何でも OK でしたらば、制服をずっと、それこそみどりの南の、義務教育学校のスカート入っていようが、谷田部中学校さんのスカートを履いていようが違和感がない。その中にたとえ違う柄のチェックのスカートの入ってる子がいても、それは OK っていう感じなのかなと思いました。

委員長：ご意見をお願いします。

委員：はい。私もどちらかということ、自由な方がいいのかなとは思いますが、まだちょこちょこ調べてみて、今ちょっとお話出たんですけど、ユニクロとかちょっと具体的な名前になっちゃいますけども、ああいうところで

あれば、採寸とかもやらないそうなのでね。各自でお店に行って、各自で購入するっていうスタイルなので、ある程度、この型番の中で買ってきてくださいねっていうのだけ決めておけば、あとはその中から自由に選んでもらうようなスタイルの方がいいのかなと。なのであとはワッペンとネクタイとかリボンあたりは、これも例えば2、3色用意して、好きなものを選ぶとかっていうふうにすれば、今のみどりの学園の子たちが着ても、谷田部中の子が着ても、ネクタイのそういった、バリエーションもいければ、いいかなって。もしかしたらネクタイぐらいだったら、新しいのを買ってあげるよって言う親御さんとか、買ってくれること可能性もあるので、そういう方がいいのかなと。また、メリットとして、遅い時間でも買いに行けると。なんかね子供なので、破いたってなった時に、もう5、6時過ぎていると、大体制服を売っているようなところだと、閉まっていたりとかというケースもあってなかなか買いにいけないんですけど。今のみどりのの体操服とかは、カスミとかで売っているんですね、なので夜12時までに行けるんですけども。谷田部南小のは17時ぐらいまでしか買いにいけないので、なかなかしんどいんですね。なので、そういったある程度、汎用性が利くようなもので、遅い時間でも、今からでもまだ間に合うねみたいになってというようなスタイルがいいのかな。というのもさっき言ったアオキさんとかでも遅く時間までやっているの、そういうところでうまく調整できるようなところがあればいいんじゃないかなと思います。

委員長：ワッペンとネクタイ・リボンそういったものは、共通だよと。ただ後は、おおよその形や色を示すだけで、ジャケットは自分たちでどこかで購入してもらおう。パンツ・スカートについては、もう同じか。おおよその色も指定する。色や柄って言うんですかね。

委員：あと、みどサポで一度上がったんですが、そのジャケットも学校から指定の時だけ着るようにして、なぜかという、ジャケットの下にセーター

を着てはいけないとか、謎の校則じゃないんですけど、そういうのはなしにして、寒いときはセーターで通学してもいいとか、ジャケットはこの時だけ必ず着てきてくださいよって学校側が指定して、その時は必ずみんな揃って、紺や黒のジャケットを着てきて、揃っている感じにすると。あとは通学の時は、寒ければセーターを着て、その上にPコートを着てもいいですし、そのコートも一応指定は、緑とかピンクとかだったら困るので、その辺の色は決めて、そういったのは自由ですよってしてあげた方が、ゆったりした感じで通学できていいのかなあとと思います。子供はやっぱり重たい荷物持って歩きますので。そういった感じで思います。これは私個人の意見です。

委員長：他の意見ってありますか。他の意見っていうか別の考え方っていうか。

委員：言いづらいところがあるんですけど、今の話を聞いていると、すごい話し合いをしているなど。もう自分らの時は本当に形とかもそんなのもきっちりかっちりってというような感じだったので、それをこういう話をして上がブレザーだけで、下は自由で、今のつくばの中学生なんかはおそらくですが、もうガチャガチャになっちゃうんじゃないかなとか、そういう不安な自分なんかは、過去考えると、あるんですけど。それが心配なんです。

委員：私もどっちかっていうと、そのガチャガチャがあんまり好きじゃなくて、決められた中で過ごすのが好きなので、制服はセーラー服が好きなんですけど、みどりの学園の生徒さん見てる限り、スカートは絶対短くしてませんし、膝より上の子がいませんし、1人としていません。それでジャケット着てきなさいって言うと、必ず全員着てきます。ですので、ガチャガチャになることは、先生方、保護者ももちろん心配してるんですが、現状はないので、とりあえずでやってみても面白いのではないかな、変革なので、せっかくなので、やってみたらいいのかなというふうに私は思います。

委員長：他にありますか。私も、自分で頭の中で考えたのは、まず保護者の人

が何買っていいんだろうって思ってしまう場合もあるのかなと思ったんですよね。だから標準のものがあつた方が、これに近いもの買えばいいんじゃないってわかるから、標準服はあつた方がいいかなって最初思って、そういう意見が出てくるだろうと。標準服は作るけど、何買ってきても似通つたものならいいよ、くらいの意見かなと思ったんですけどそれを超えていたので、少しびっくりしたんですけど、それが令和かなっていうふうに思いました。ある程度、自分で判断させる。親がかりになっちゃう部分もあるけど、制服を着る年齢の子供たちが、ある程度自分で考えて、購入プランを立てたり、購入してもらったりっていうのは、ある面必要かなって思いました。なぜかっていうと、自分が何着ていいかわからなかった。詰襟が無くなったときに、大学に通おうと思ったときに何着ていいんだろうってすごく思ったことがあって、就職してからも、スーツを買いに行きますよね、自分で。何買っていいんだかよくわかんなかったんです。と考えると、こういう着方があるんだね、こういう形の服があつて、こういうコーディネートがあつて、こういうメーカーがあつてっていうのを知っておくことも楽しいのかなってすごく思いました。それですごい高額なものを親にねだる子が出てくるかもしれないけど、それも面白いのかなとは思いましたが。これどうやってアンケート取ったらいいですか。体操服の部分は決まりますよね。かっちりアンケートここの設問がね、制服については、どういうふうにアンケートとったらいいかが見当が付きません。はい、お願いします。

委員：はい。アンケートについても、単純に学校として指定の制服を作るのか、一部、さっき言ったネクタイとその辺、マークとか、上着の色とかを指定するだけにするのかっていう2択で出してみたらいいかがですか。もうがっちり固めますか、それともある程度余裕を持たせますかっていう、同じようなアンケートスタイルでいいんじゃないでしょうかね。そうすればどち

らかが出てきて、がっちりっていうんだったらがっちり決めましょうっていうところでもいいんじゃないかなと思いますけど。

委員長：ご意見ありますか。今こういう流れなんですけども、事務局さんとしては何かありますか。こういったスタイルのものを準備してくださいねって。いうふうにするか。標準服はこれです。これを購入して、後の洗い替みたいなものは、似たようなものでも大丈夫ですよっていうふうにするかっていうことだと思っんですけど。そういったのを決めちゃうか、アンケート取るかっていうこと。

事務局：事務局です。よろしいですか。今のお話の中でちょっと確認したかったのが、今回アンケートを取るのか、今お話をさせていただいたのは、もう、この中で全部指定にするのか、標準的な部分的なものっていうお話で進んでいたの、アンケートを取る、取らないってのがまず決まっていなかったんだと思っんですけど。これは研究学園のなんですね。研究学園のちょっと色味がよく出るかわかんないんですが、ネクタイとリボン是指定です。それでジャケットとパンツとスカートについては、標準服ということで、一応これを買ってもいいですよ、これに見合ったものであれば、それでもいいですよっていうのが、研究学園です。

委員長：じゃあもう最初っからこの形に似通ったものを買ってくるっていう人もいるんだ。

事務局：そうですね。これが一応見本なので、もうメーカーもこれを買いたいって人はこれを受け付けします。これに似たものであれば、こういったものでもいいですよ。ですから先ほどの他で売っているところであれば、このスカートの柄とかスラックスの柄がありますので、こんな感じで、紺とかそういうものであれば、似たようなもの、似たような色であれば構いませんよっていうのが、研究学園です。ただし、1つ違う点が、ここにワッペンありますよね、ワッペンは、今回この決まったメーカーさんは、ワッ

ペンを別売りはしていませんので、この標準っていう見本としてできたものを買った人にはワッペンが付きますけど、他で買ってきた人のジャケットにワッペンを付けるってことはできませんよっていうのが、今回の業者さんですので、先ほどの中でワッペンをっていう、何でもいろんなこでもいいから買ってきたもののにワッペン付けましょうっていうのは、その業者さんに聞かないと、お話が何とも言えないということが1つですね。それとアンケートの中で体操服の話が先ほどあったと思うんですけど、アンケートやって決めていただくのは構わないんですけど、小と中で一緒なのか、小と中で別々かってなったときに、今回のアンケートで、みどりのと谷田部南ですよ、アンケート結果って人数だけしか出てこなかった場合に、谷田部南さん全員が別々がいいって言っても、みどりのさんのがいいや、一緒でもいいですよっていくとその人数差で、単なる人数差でいかれちゃうと決まっちゃいますよ。ただその決め方が今回は難しいんだと思うんですよ。谷田部南さんも全員が一緒でもいいよっていうことになれば構いませんし、みどりのの人も別々がいいんだっていう意見がいっぱい出てくればいいですけど、極端な話、谷田部南さんが全員が別々がいいって言ったところでも人数差が出てきているので、その人数差を考えないと、アンケート結果っていうだけで決めるってのは難しいことになると思います。今言ったアンケートを本当にやるのか、やらないのか、体操服のことはやるっていうことでは構わないんですけど、制服については、お話あったのがやるかやらないかっていうことが進む前に、標準をこのような形で作るのがいいっていうようなお話だったので、まずアンケートやるかやらないかが先ですよ。ただその中で、アンケートやるとなれば、こういったふうな、先ほどの研究学園のアンケートをやったときに、全部指定がいいのか一部が指定がいいかっていう項目をつけていく中でこういうふうになってきたので、どうするか。あと、ジャケットだけこんな感

じでもいいけども、下はバラバラがいいっていうこと言うお話も、例えば前回お話させていただきましたが、式典の時だけは、中について例えば着るものが白をお願いします。それ以外は幅を持たせて、どんな色でもっていうそれは、これから先の話だと思うんですよね。スラックスとそのスカートについても、これは柄のものが入っていますので、柄がないものにする、色合い、例えば今回はこのグレーっぽい見本的にはあるけども、幅を持たせて、紺でもこの色でもいいよっていうふうにして、それに準じたものっていうことになれば幅が持てると思うんですよね。それをどう決めていくかだと思います。

委員長：標準服って言われるものを必ずしも買わなくていい。これに似通ったものを買ってくればいいっていうふうなことが、メーカーさんとしても認めていらっしゃる。認めているんだから研究学園と同じ項目でアンケートを取ればいいんじゃないかと思ったんですけど。だから、全部ばらなのか。と上下かちっと決めちゃうとかっていうアンケートでしたよね、何か研究学園と同じアンケートでいいんじゃないかと私は思ったんですけど。あとワッペンに関してもその業者さん選ぶときに、ワッペン独自で提供してくれるところとか、最初に話しておいてコンペの時に言っておけばいいのかなと思っているんですけども、その辺もあれですよね。業者さん次第なので大丈夫なんですよ、きっとね。

事務局：コンペの時には、まず皆さんには何社呼んで欲しいっていうことが前提で、3なのか4なのか5っていう数字が出ますよね。出た数を、こちらは販売店さんに一応それだけの数のメーカーさんと呼んでくださいっていうお話をします。メーカーを呼んでコンペやるときには、もうすでにアンケートなり何かで、仕様が決まっているので、この時も同じですけど、ここではネクタイとリボンが指定だけどそれ以外は標準服っていうことなので、みんなが買うとは限りませんよっていうことをお話した上でメーカー

さん来ていただいています。同じようにワッペンについては、それはメーカーさんにちょっと聞いてみないとできればその5社なら5社来たメーカーさんに、それぞれがワッペンは、提案したものを買わなくても付けてもらうことができるかどうかってのは、それぞれの会社さんに聞いてみないとお答えのしようがないですかね。ただ、どうしても作ってくれる業者だけ呼んでくれっていうことになるのであれば、それを探すしかないですし、いや、5社で例えば呼んでもらえて、その中で聞いて確認しますっていうのとまた別になっちゃうのでそれをどっちにするかですよ。ただ、メーカーによっては、呼んで必ずどれでもいいから作ってあげますよって言った会社さんは、どれだけあるかもわからないので、その会社自体も、大手なのか大手じゃなくなるかもちょっとあるので、その辺はちょっと聞いてみないとわからないですね。

委員：研究学園さんの制服なんですけど、ジャケットは指定、これを買うということですか。

事務局：見本っていう形なので、ネクタイとリボンも指定ですね。

委員：じゃあネクタイとリボンさえ買えば、ワッペンは付いてくるっていうことじゃない。ではないんですね。ジャケットはこれを買わない方はその辺どうされているんですか。

事務局：ないです。付けない。

委員：付けないでOKの学校ということですか。

事務局：はい。

委員：なるほど。すいません。それがわからなかったんでは、ありがとうございます。

委員長：あとはやり方ですよ。ワッペンを希望するのか、ピンバッチなのか。ブレザーのボタンにデザイン化するのかっていう。かちっと作りたいっていう人はどれぐらいいるかですよ。かちっと作りたいって思っている

保護者の方、在校生の保護者の方がどれぐらいいるかっていうのが知りたいですね。概ねっていうか、かちっとしたやつじゃなくてこういうのってわかればそれ買ってきますよっていう人が多いんだったら、もうそれでいいんじゃない。例えば、紺ブレで、下はチェックか単色のスラックスかスカートねってやって、それで、保護者の方たちがそれで、買ってこられます。いいよっていう人が多いんだったら、それでいいような気がしますよね。そして、形として何となくイメージがつかない人のために、標準のサンプルを作っていて、こういうのだよ、これ買ってもいいけど、最初から全部、ここに書いたもの買ってきてもいいですよって教えてあげればそれで済んじゃうんじゃないかなと。アンケート取らなくても。ただ聞きたいのは、かちっとしたやつがいいですか。自分で揃えられますかっていうのは、聞きたいです。すごく。あとは、ワッペンだけ欲しい。それだけだと思うんですよね。うん。標準服を作らせておいて、ワッペンを別業者に頼んだら、何か業者さん気悪くしますよね。だったらピンバッチの方がいいのかなって思いましたが、はい。ご意見があれば、はい、お願いします。

委員：ワッペンのみを発注っていうのは、業者に確認しないとわからないですよ。

事務局：今回の研究学園はワッペンだけってのは、やはりできませんよっていうお話だったので、先ほどお話のようにワッペンだけやってる会社さんは確かにあると思うんですけど、そうすると、仮に今回のように、標準服のメーカーにワッペンをお願いすると、統一感は多分なくなりますよね。制服のメーカーさんが作るワッペンとワッペン業者が作るワッペンって全く同じになるかどうかっていうのがわからないので。ただそうになると、例えばもう制服屋さん、制服メーカーさんにワッペンを頼まないで、ワッペンメーカーだけにワッペンを頼むのかとかにしないと、制服メーカーさんが

ワッペンだけでも売りますよっていうことであれば、統一感はありますけども、ワッペンだけ作りませんよって言われてしまった場合には、買った人しかないので。それを考えると、ワッペンだけを作る業者さんに単独でお願いしなきゃいけないので、その辺はちょっと今までやったことがないので、確認しないとわからないですね。

委員長：いかがですか。制服メーカーさんには、何社かに制服のイメージを、標準服のイメージを作っていただく。ワッペンはなく、ワッペンあっても、ワッペンだけ売ってくれば、それはそれでいいってことですよ。うん。または、制服業者さんにはワッペンのない制服のイメージ、標準服のイメージのものを作っていて、ワッペンは別のワッペンを作っている業者に発注してはどうかっていうことですよ。ワッペンだけ作ってくださる業者を探していただくって感じですか皆さんのご意見としてはどうなんですかね。

委員：もし制服のメーカーさんで別に単独販売していただけるのであれば、別にそれにこだわらなくてもいいのかなと思うので、最初からその条件をある程度つけた上で、業者を選定することってのはできるんですか。まず選定の条件の中で、おそらくこういう感じで作ってもらいたいんですって話を多分出すと思うんですけどもその中で、ワッペンを単独販売できることっていう項目を設けた上で業者選定というのはできるんですか。

事務局：事務局です。できますけども、単独でっていうことは無条件として、単独で販売ができない会社は駄目ですよってことが逆になっちゃいますけど。

委員：それであれば、その時はその時でワッペンは別の業者にお願いをするような形にしていくのがいいのかなと思うんですけども。どうですか、その辺ちょっと私もあまりその発注のところと違って詳しくないんですけど。別にメーカーさんにこういう条件を投げて、この中で、これができること

ろが集まってくださいねでいいんじゃないのかなって。それで例えば、ゼロだったんですっていうのであれば、ワッペンは外した上で、制服だけお願いしますっていうスタイルでいいんじゃないかなと思うんですけども、それではどうなんでしょうか。

事務局：コンペをやるので、まず何社を呼ぶかですよ。例えば、ワッペンはもう作らなくて最初からいいですよってことになれば無条件で5社なら5社が来ると思います。ただ、ワッペン単独で販売してもらわなきゃ困りますよって言った時に、5社呼んでときに、1社しか来ない可能性も中には出てきます。制服って3大メーカーがあるので、そこが作らない、単独で販売しないよって話だったので、大手から下がってくるので、そうすると価格に反映してくる可能性が今度出てきます。もう1つ、エンブレムは別でってそのメーカーさんに発注するのは構わないんですけども、できたものがアイロンタイプなのか、自分で縫のかかっていうことも今度出てきますよね。アイロン付けになると、強度の問題とかいろいろ出てくると思うので、その辺も踏まえて考えなきゃいけないのかな。単独でワッペンを頼む場合ってなるとどういった仕様のワッペンを頼むかっていうことも出てくると思います。今言ったように、メーカーさん頼んで、1社しかなくてもそれでも構わないってことになるかどうかに影響しちゃいますので、ここはどうするかですね。

委員：もし1社であれば、じゃあ制服だけでお願いしますって言ってそしたら5社来るから、5社でコンペをしてもらおう。ワッペンは私たちがワッペンを作って欲しいからワッペン業者をお願いをして、ワッペンを作ってもらって、するっていうことなので、私たちが業者を選べないので、とりあえず声をかけてもらうのは制服会社さんとその制服会社さんに、ワッペンと別でできるかできないのであれば、ワッペン業者さんをお願いしたいということです。

委員：そうですね、やはり同じで、逆に1社しか来ないってなっても1社がやってくれるのであれば、それはそれでもいいんじゃないかなと私個人的には思うんですけども。ちょっとわかんないんですけども、発注側がその条件を提示してメーカーさんに来てもらうんですよね。今回これ単独販売できませんっていう話だったと思うんですけどもなぜそれメーカーさんが決めるんですか。その辺がちょっとわかんないんですけども。

事務局：コンペをやる段階で、研究学園の時には、販売単独でできるかできないかっていうのは確認はしてないんです。

委員：ありがとうございます。そこが確認とれば大丈夫です。今回はあくまでも前提条件としてそれを提示した上で、業者さんと呼んでいただくっていうことはできるってことですね。まず条件として。

事務局：それはできますね。その時には今度、次の段階として、声をかけてできるといった業者が、何社でいいのかってのは皆さんの問題ですよ。1社、2社しかなくてもそれでもいいですっていうことなのか、やっぱりもうちょっと複数社あった方がいいってことになれば、2社しかなかったの、じゃあワッペンとは別にするんですってということになるのかどうかってことになると思うので。

委員：確かに1社でも全然いいですよ。だって標準服だから全員が買うわけではないので、買うかもしれない、買わないかもしれないので、全然1社でもOKなので別っていうかやってくれる人を取りあえず募集かけたっていうのが私たちの意見かなと思います。

委員：業者の立場からすると標準服で、ワッペンを付けない、ワッペンだけってなるとなかなかうまみが減ってくるので、何か入ってくれる業者さん少ないかもしれないんですけども、先ほどおっしゃっていたように標準服ということで、着ない人がいる、多いかもしれない。その時に、標準服を作るイメージとして、もうよくわかんないなっていう人にはいいと思うんで

すけど、例えばそういう人たちには、ユニクロさんとか、他のアオキとかアオヤマとか、そういうものの写真をどれでもいいよって言って提示してあげるだけでは足りないのかな。あえて作らなきゃいけないのかな。作ったら当然引っ張られて、なんかやっぱこっちがいいかなと思って買っちゃう人も逆に出てくると、当初今目指している理想の主体的な自由な制服を選ぶっていうところに、なかなか障害にならないかなとは思いました。あともう1点はワッペンで、今縫い付けるかアイロンかっていうことだったんですけど、そうするとやっぱり、ブレザー1本で3年間まわしていくっていうイメージになっちゃうので、もう取り外しができるような或いはもうなんて社員証みたいに首からかけるみたいな何かポータブルな形で、携帯できるようなものがあるのもいいのかなというふうに思いました。

委員：ワッペンについても、やっぱり取り外しができるものがあるのかなと思いますし、大体ジャケットであれば、ポケットがついてると思うので、先ほども何回も言ってますけど、会社で制服を着る中で名札も当然付けてますんで、その名札って簡単に取り外せるんですね。そのちょうどこの裾のところにプラスチックをこういうふうになっていて、すぼって入れるだけなんですね。なんで簡単に取り外しもできますし、そんなにそんなに劣化もしないですし、たまにどっか行っちゃうときもあるんですけど。基本的にはそうはないと思うので、そういうスタイルであったりとか、名札みたいに後ろにピンを付けて止めてもいいかなと思うので、そういった形でもできるんじゃないかなとは思いますが。そうすると、多分、制服メーカーさんでは作れないかわかんないですけども、一応多分うちの会社だと同じメーカーさんをお願いしているはずなので、できなくはないのかなと思うんですけども、そういったこともできるかなと思います。

委員：先ほどの意見であればワッペンよりもやっぱ校章のピンだと簡単に付けて使いまわせるのかなって。ワッペンもぺちゃって貼るのより、多分こう

なんかこうピンとか付けちゃうとちょっとお値段が高くなって、縫うよりアイロン。アイロンより何か付けた方が高くなるのかなって思いまして、はい。やっぱり先ほどおっしゃったように、日本人ってやっぱりこう、あるとそっちってなっちゃうので、だから絵じゃないですけど、写真じゃないですけど、写真だったら必要な。絵で何色でっていうのも、それもまたいいのかなと思ったりしました。

事務局：よろしいですか。はい、事務局です。確認したいんですけど、今のはもうアンケートはやらないで決めて作りますよっていう話で進んでるような気がするんですね。一番最初の委員長の話の中で全部指定でしますか、一部指定にしますか、ワッペンが欲しいですかっていうアンケートをやった上での結果でどうするかなのかなと思うので、今回そのアンケートをやるかどうかってのがまず決めていただくことですよね。決めていただいた中でアンケートをやるとなったときの項目として、今のようなワッペンっていうのを聞く項目として入れるのか、その入れた中で、ワッペンはやっぱり欲しいんですよ。ピンバッチならピンバッチとか何か物が欲しいんですよっていうものが出た上で、その結果を踏まえて、コンペの業者さんに聞いて訪ねていくっていう過程に行くのかなと思うので、その辺がだんだん今、先の方にどんどん進んでいってしまっているんで、アンケートをやるのか、項目を聞くのか、その結果として皆、子供たちの意見がどうだっていうことを反映するかっていうことになるんじゃないかと思うんですが。

委員長：確認しますけれども。ここのメンバーだけで決めるのは、やっぱり危険。危険っていうか多くの方の実際に着る子供たち、購入する保護者の方に聞いた上で、決めていくことが重要だと思うんですよね。しかも他のその地域じゃない方の意見は入らないようにしていく工夫が必要であって、アンケートは取らせていただいて、それをもとに決定していくっていう過

程は踏みたいと思います。項目で工夫をして今ここで出てきたようなご意見が反映できる案、アンケート項目を設定して伺うというふうなことではいいんですよね。体操服についてもね。はい。ええ。アンケートの項目についてもここで決定するんですけど。今。

委員：最初の時にも委員長がおっしゃられたと思うんですけど、完全制服か。

指定制服か。一定のルールのもとで自由な一定の標準服とは呼ばないと思うんですけども、一定のルールを指定した上で、自由に選択できる自由に購入していただくかっていうことですよ。そういう購入性ですかね。

委員長：それを聞けばいいのかまづは。完全制服の人はもうそれ以上言うことはないっていう感じだと思うので、自由購入制の場合に、おいて購入する場合は、ジャケットだけなのか。そこも言い始めると、收拾がつかなくなるような気がするのです。

委員：よろしいですか。それであれば、逆に自由なスタイルにする時にこれだけはっていうのだけ決めちゃったらどうですか。さっき言ったネクタイとワッペンを付けることだけ決めて、あとはある程度、いろいろ色味の中で各自選択をしてもらうとか、逆にそういう具体的なものがある方がアンケートとして取りやすいんじゃないかなと思うんですけど、それは逆にこっちで決めちゃっていいと思うんですよ。逆にそれを決めておいて、アンケート取ったほうがアンケートが上がってきたときに上がって我々がその先進めたときに、いや我々としては、もうネクタイと、これは指定しますよって言いましたよねっていうふうに、最終的にできると思うので、多分いろんなアンケートが上がってきちゃうと、もう收拾がつかなくなっちゃうのかなと思うので、ネクタイとワッペンを付けることがワッペンもしくはピンバッチみたいな、校章のピンバッチを付けること、あとは色味をして、色見をある程度限定した上で、自由なスタイルをできるようにする。選択をさせるっていうアンケートを取ってはいかがでしょうか。その決め

るものだけは今決めちゃっても逆にいいんじゃないかなと思います。

事務局：よろしいですか。これ今研究学園のアンケートです。先ほどこの一つ前が、すべて指定がいいか一部指定がいいかっていう項目で、その次に、スラックス、スカート、シャツ、ネクタイ、リボン、なし。どれを一部指定したいかっていう項目を選ぶようになっていきます。そこで多分これと同じなんじゃないかと思うんですけど色を入れてくると今度もっと大変なのかな。コンペやるメーカーさんっていうのも今度大変なってくるんじゃないかと思うんですよね。紺っていったら紺しか作ってこないの。やっぱりメーカーさんもその学校のイメージを持っていろんなものを作ってくるので、そこはアンケートでも指定をしない、色は指定しないで、例えば、ジャケットとかこういうふうな項目だけして、この決まったコンペでメーカーさんがいろんな何種類か持ってきた中で皆さんが選んで、これに見合うものだったらいいですよって最終的にそれを色とするのか、もう最初から色を決めちゃって本当にアンケートを取るのか。紺っていうふうにアンケート取ってグレーとか書いたらもうそれしか作れない。メーカーさんもそれしかない。

委員長：そうですね。今までは色を指定したアンケートってやってはいないので、上物なのか中身なのかだけをアンケートで取って、それをもとにメーカーさんが作ってきたものを選んでそれに準じたものっていうのにするのかどうかなんですけど。色決めますか、ここで、はい。

委員：前回の時にはその制服コンペした後に、学校で見てもらってというお話、事務局さんの方からお聞きして、それでやっぱりそのメーカーさんが来たやつを、色指定しちゃうと全部似たようなもので、多分そんな差がなくなっちゃうと思うので、色の指定なしでアンケート取って、メーカーさんのカラーが出ると思うので、そこから選べるようにした方が楽しいのかなというふうに思います。

委員長：はい。お願いします。

委員：ちょっと私は違う解釈をしていて、別に今、色を決めるってことではなくて、ある程度話が進んだ中で色は決めるけど、その枠は色は決めますよっていう枠でとらえていたので。私の解釈が違ったんですけど、多分今のお話だと、グレーならグレーって決めちゃって、それをもとに進めますよっていうアンケートを取るって話だったと思ったんですけど、私はそうじゃなくて、色自体は後から決めるけど、まずトータルとして、そのスタイルを作る中で、ネクタイ、エンブレム、あとは色についてはまた、例えば制服メーカーさんが作ってきた中で、それに合わせるような形でいいのかなと思ってたので、今この色を決めなきゃいけないって解釈はちょっと私はしてなかったの。それを言ったら、皆さんのそのお話だとそういうアンケートになりますよってことで、我々が言ってたのは、色は指定しないで、メーカーさんが作ってきたものでやった方がいいんじゃないですか、どうですか、今まではそうですよっていう色を最初からアンケートに入れたってのはやってないので。そうですね、私もだから別に色は今決める必要はないと思う。ただ、あくまでも色を指定しますよっていう前提条件をつけておくって言うだけ。

委員長：最終的についでいう話ですね。今すぐって言うことじゃなくて、最終的に色を決めていきたいと思いますよって言うようなスタイルだと思って、すいません私はそういうふうに解釈しているんです。色は最終的には指定してこれを買ってきてもらえますよ、だけどそのアンケート取る時にはその色は指定しないってことですよ。メーカーさんのいろんな中からみんなに選んでもらって。それに決まった色を後でこう、そういうイメージですよ。

事務局：この後のコンペって、ワッペンのはきはきにしてなんですけど、基本的に5社呼んで欲しいってことになれば5社呼びます。その呼んだときにメーカーさんは、今まで作ってきたものを持ってきて、うちはこういう

特徴なんですっていうそれぞれ会社がやります。それで一社を決めます。決めたメーカーさんが今度見新しい学校用のを作ってきます。その作る時、コンペ終わって、決まった後にメーカーさんに残ってもらいますので、皆さんから例えば青系を作ってきて欲しいとか、緑系を作ってきて欲しいとか、一つはもう学校に見合ったものを作ってきて欲しいってというような提案ができますので、それで例えば、グレー、紺、緑って3つ作ってきたとしますよね。それを今度、子供たちとかにアンケートを取って、一番多かったものを選ぶかどうか。そうすると必然的にその色になって、それに準じたものを買ってきてくださいってのがこのパターンですよね。という方式になるので色を全部メーカーさんがっていうわけでもなく、皆さんが、これを作ってくださいっていうことを伝えることは可能ですね。

委員長：今事務局が言った方式でいいんですよね。その順序でね。それで大丈夫ですか。はい、お願いします。

委員：校章をアンケート取った際には一応デザインとして校章を考えてきていただいて、それを広くアンケートを取ったわけなので、デザインとして標準服をお願いして、ということで物というか、視覚情報ですね視覚のところで作っていただくってということで、それはいいのかなと思うんです。物のところについて例えばスラックス、スカートの色までっていうところだとちょっと難しいと思うのでシャツも色、ネクタイも色、リボンも色ってなってくるので、そこはあくまでデザインとして業者をお願いする方が私はいいのかなと。あと項目として入れていただくのが適切なのかなと思うのは、あそこに校章、例えばそのワッペン、ピンバッチ。校章を選んだ後に、ワッペン、ピンバッチの選ぶ項目を作っていただいて、注意書きとして例えば、制服に着用するものですということで注意書き入れていただければ、指定が必要なものが、スラックス、スカート、シャツ、ネクタイ・リボン、あとそれに加えて、校章っていう形で、その新しく入れれば、選

択性が出てアンケートの結果が、私たちの方での考えに行き着くのかなと思ったんですが。

委員長：うん。今言ったような項目でアンケートのサンプルを作ってもらって、それを私たちに返してもらって、抜けとか疑問点があれば、まとめて事務局に戻して、きちんとしたアンケート作成した上で、実施するというところで4月中だから、間に合わないことはないな。はい。

委員：事務局としての意向が入ってしまうところあると思うんですが、それは制服に、着用するものですよという文言を入れて、うん。校章なのかピンバッジがいいのかっていうのを選択していただくのか、その辺はこちらの方の主導的などころが入ってきてしまうのはあるんですが、こちらでどこまでそろえるかっていうのは協議いただく必要があるのかなと思います。

委員長：これ何も見えないところで、協議するのはちょっと大変つらいので、これをもとにワッペンはいかがでしょうか。ワッペン、校章についてお伺いする項目を作って入れた上で、メールでこっちに戻してもらって、それで各自が抜けているところ、それから、文言等チェックして戻し、修正したものをまた上げてもらって、これじゃあいきましょうってなって、アンケートを取るという手順でどうですかね。事務局さん、いかがですか。

事務局：はい、事務局です。ベースはこの研究学園のアンケートで、これに質問としてプラスするのは、校章を付けるかどうかという質問で、その先にワッペンなのかピンバッジなのかという質問を追加した上で、皆さんに確認していただいて、ある程度期限を設けて皆さんから修正の案をいただいて、再度確認していただいた上で、アンケートにかけるということでよろしいですか。

委員長：制服はそうですね。はい。そういう形でお願いしたいと思います。先ほど体操服の意見で母数が違うので谷田部南小の意見が反映されないっていうご指摘があったんですけども、そこをどうするかかなって思います。

だから数値のアンケート数字としてのアンケートじゃなくてここをご意見
いただくような。だけど選択になっちゃうよな。やっぱり。アンケート結
果の数値で決めるんじゃないくて、南小さんのその少数意見が反映されるよ
うに、意見を伺いたい。なって思うんですけども。だけどそれでも学園ジ
ャージにするのか、小中別にするのかっていう聞き方になっちゃうんです
けども、数値だけで決めずに、出てきた内容をここで考察して、決めてい
くっていう形にならざるをえないんじゃないかと思うんですけど、どうで
すかね。

委員：どうしても少数になってしまうのはしょうがないのでこれでアンケート
を取って、これは小学校別の、例えば比率とかってのは出せますか。その
学校別の比率を見て判断してもいいんじゃないかなと思うんですけど。例
えば谷田部南で分けてたい人と分けたくない人、そうですね一緒にするか、
分けるかっていうのを作った上で、南小としては何%の人が何票じゃなく
て何%の人が、これを言っています。みどりのの方で、何%ですっていう
のを合わせて、パーセンテージで決めれば、いいんじゃないかなと思うん
ですけど。票数ではなくパーセンテージでいったらどうでしょうか。

委員長：いかがですかね。どう考えてるかっていうそのパーセンテージで考え
て決めるっていうことでよろしいですか。はい。アンケートを取ります。
体操服も制服も、そして、期日については、このスケジュールに遅れがな
いように実施したいと考えているので、まずは事務局さんにアンケートの
サンプルを作ってくださいということで、はい、お願いします。

事務局：はい、事務局です。そうしますと、体操服のアンケートについては制
服とは違って研究学園のアンケート、一部指定、半袖・半ズボンに指定に
するとかっていうふうにとったんですけども、体操服はそうではなくて、
まず2択ですね。学園として体操服を統一するのか、また、小学校と中学
校で別のものを作るのかという2択を取った後に自由記述みたいな形もの

は入れますか。そういったのはなしでもう本当に2択の一つの質問だけで体操服は終わりにしますか。

委員長：いかがですか。意見が出てくるかな、何か。自由っていう完全自由っていうその意見が出てくるかもしれないですよ。そうすると。中学校は作るけど、小学校は。

事務局：よろしいですか。研究学園の時は中学校の部活とかを考えて長袖・長ズボンだけは指定したいと。その上で半袖・半ズボン。また、指定しますか、どれがいいですかというアンケートを取ったのがこれなんですね。今のお話は2択でしたよね。みんなを小中で同じなのか、別々を作るかっていうだけしかないの、そのあとに、例えばもうここで同じ研学と同じように長袖・長ズボンを指定しますが、半袖・半ズボンについてアンケートを取りたいっていう方式にするか、それとも長袖・長ズボンは指定にはしないのか。半袖半ズボンは指定にはしないのかってことですか。研究学園は部活のとか大会とかいろいろあるので、長袖長・ズボンは指定して、アンケートの結果で小中同じでも、別であっても長袖・長ズボンは指定をする。けど、半袖・半ズボンについては、アンケートで半袖がいいとか、半ズボンがいいとかっていうアンケートを取るのかっていう、それは大前提がその長袖・長ズボンはもう指定にしちゃうってことになってたんですけど。

委員長：それをここで今決めないで、それも長袖・長ズボンも全部指定がいいか、違う方がいいかってアンケートにするのかどうかっていうことですかね。いかがですか。

委員：はい。移行期間というか基本的に前のものを使えるっていう前提で考えれば、別に私はそろえるのかそろえないのかっていう単純な2択でいいのかなと思います。でも別に、決めたからといってね、それを必ず着なきゃいけないってわけではないので、当然中学校でも谷田部中のジャージの子

もいれば、みどりののジャージの子もいて、多少はある程度移行期間の間は、そういったことがあってもいいのかなと思ってますので、その期限を無期限に設定しているっていう意味ってそこなのかなと思ってますので、基本的には統一するか、バラバラにするかっていう2択でいいんじゃないかな。大きくもうそこでいいのかなと思います。

委員：移行してこうサイズアウトした時に何を買うかっていうときに、指定してあるってことは、いずれにしても指定してあって、指定したものをその小中同じか違うかっていうことなんですよね。例えば1年生と6年生の子がいて、下の子が、5年後に着ようと思ったら着れると思うんですよね。そういうのもOKっていうことですかね。

委員：そうですね。特にその期限を設けなかったというのはそこかなと思ってますんで、うちも当然上の子のをどっかで下の子が着るタイミングになっても別にそれはそれでいいですよ。ただそれが例えばもう破けて駄目になって、新しく買い直すときは、新しいのを買ってくださっていうことで、別にそれは今でも同じだと思うので、サイズが変われば新しいのがあったり、破けたら新しいの買ったりってのは同じだと思うんで、もう本当に統一するかしないかだけでいいんじゃないかなと思いますけども。谷田部南小学校の子は、谷田部南小学校で買っているのを、今後ずっと買い続けられるわけで、そこが、中学生になって買い替えなければ、それも続けるってことですよね。何か新しいものずっところ、一律の体操着になることがないっていうことはありえますか。今後例えば5年後10年後もまだバラバラっていうことであるとその一体感を求めた統一された体操着ってじゃあ何なんだろうっていうような、ちょっとよくわからなくなっちゃったんですけど。

委員長：小中で別々に指定するとなれば、中学校のものがあるわけで谷田部南小の今のものがずっところあって、新しいみどりの南小に来て、それを

ずっと使っていてっていうのはありえて、だけど中学校で統一されるんじゃないですか。中学校では指定がある場合。小中別々に指定する場合は、だから、小学校は、新しいのを買うかってならない限りずっとこうバラバラっていう感じ。だけど、学園ジャージにすると今の谷田部南小の運動着は、製造されなくなって、ある時なくなっちゃうから何年かしたら、みんなそれになっていくっていうイメージで私はとらえていますけども。

委員：わかりました。ありがとうございます。だから統一ジャージか、小中新しい学校は小中別にするかっていうところだけと、例えば、いいんじゃないかなって、私も思っています。はい。細かく聞かなくてもいいかなって。はい。もう統一するとなれば、全部統一ですよ。上着も半袖ハーフパンツもかなって思っています。

事務局：事務局です。今のお話からすると、統一でも別々でも、長袖・長ズボンは指定を作るっていうことになってないと、別々になった時に谷田部南小を卒業して、中学校へ行く時に上の兄弟がいないお子さんについては、長袖・長ズボンがないんじゃないんですかね。谷田部中のを買っていくっていうことじゃないですもんね。継続使用って言ってもお下がりがないので上の兄弟がいる場合には、お下がりを継続使用できるから谷田部中のを着ていけますけど、初めてのお子さんが谷田部南を卒業して、みどりの南中に行く時に、統一感がないって別々にした時に、長袖・長ズボンを指定してなければ、その方が着るものはどうするってことになるのかなと。指定がなくていいということはないですよ。学園統一ジャージか、小中別かっていう聞き方だから。みどりの南小学校のジャージを作る、みどりの南中学校のジャージを作るっていうのが、小中別っていう意味だから。それはそうなんですけど、その別にする。別々に作るっていう大前提は、長袖・長ズボンは指定を作るってことですよね。

委員長：そうです。指定を作りますよです。はい。

事務局：ということでいいんですよね。指定を作るっていう意味での別々。

委員長：はい。その指定を作るっていうのは、長袖・長ズボンと半袖・半ズボンも一緒ですか。長袖・長ズボンを指定するけど、半袖・半ズボンは指定をしないっていうことにするのか、そうするとこのアンケートがあるんですけど。全部指定で作るっていうことになれば、当然さっきの2択しかないんですよね。統一にするのか、別々を作るかっていうアンケートで済みますけど、半袖、ハーフパンツ、上着も全部指定っていうことだったら2択でいいんですよね。2択にするってことはそういうことだって私は解釈しているんですけど、いかがですか。よろしいですか。これ学校の運営でどうなるかわかんないけど、それも標準ジャージだからもしかしたら、似たようなもので洗い替えを買ってくることももしかしたら可になるっていう可能性もあるけど、まだ半袖、ハーフパンツ、ジャージの上下は指定のものがあるよっていうそういうアンケートの取り方で、大丈夫ですかね。はい。指定があるってことは、半袖、ハーフパンツ、上下すべて指定のものがあるっていうことです。はい。アンケートやる時に前提条件として、半袖・半ズボン、長袖・長ズボンは指定としますっていうことを書き加えてのアンケートっていうことでよろしいですね。はい。あと何かありましたっけ。

事務局：もう1点、体操服はそれで。制服については、すべて指定か一部指定かということアンケートで聞いて、その次としてどのパーツを指定したいですかっていうことですよ。その次に入れるとすると、校章を付けたいですかっていうことで、付けたいってなった人については、ワッペンなのかピンバッチなのかって何かを選ぶ形だと思うんですね。先ほどいただいたワイシャツとかネクタイの項目はどれを指定しますかなので、そこにはちょっと項目としては入れられないかなと。別出しでアンケートをしない項目にはなるかと思しますので、その制服はそのアンケートになるかな

と思うんですけど。体操服はもう2択だけという。アンケートでの制服・体操は両方終わると思うんですけどよろしいですか。

委員長：はい。そういう形でまず作っていただいて、実施前に私たちに返してもらって、チェックしてってということでの上での実施ってことになります。

はい。議事は以上になりますか。

事務局：事務局です。アンケートの取る流れまではそれでいきたいと思うんですけども、アンケートを取る対象、あと方法ですかね。

委員長：期間はスケジュールに合ってる中で決めるしかないですもんね。対象は、今日議事の冒頭で出てきたようにジャージを着る子供たち、在校生。プラス在校生の保護者。今回はいいんじゃないかなって話はしてたんですけど。外部の人が入らないっていう工夫をするということで、それでいきたいと思っています。方式については、よろしいですか。はい。

委員：何かデジタルだと思ったほど票数が入ってない。正直これ見て、あれ、これしか子供いないっけっていうのが正直なところで。本当にこれすべて反映されているのかなっていう心配が逆に出ってしまったので、子供については紙でもいいんじゃないかなと思いました。保護者については、今まで通り、デジタルでいいのかなと思うんですけども、実際これ見ると、いやこんなわけないよねっていう数字だったので。これ南小の数値とか思っちゃったぐらいだったんで。うん。そんなことない。こんなにはいないんですけど。はい。なので子供たちは紙でもいいんじゃないかなと思います。

事務局：はい、事務局です。今お見せいたしました研究学園のは、これ各家庭で1回っていうことを子供と話し合っていていただいて、取ったんですけど、今のお話、紙でって子供たちにも、このスラックスとかどれがいいですかっていうのをアンケート取るかなんですけど。

委員：私も言おうと思っていたんですけど、先ほどのエンブレムじゃなくて、マークを決めるときの子供達の判断能力話もさっきで出ていたので、でき

れば保護者の方がやはり購入する場合にはお金をお出ししてくださるってことを考えると、今、事務局がおっしゃったように、おうちの方と相談の上、回答してもらってという方が理想なのではないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

委員：同じ意見です。やはり保護者が決定して、決定権というか投票権っていうんですかね、あったほうがいいと思いますが。一つ質問で保護者って言ったときに、みどりの南小学校、中学校に行く子供の保護者が対象なのか、或いはそうじゃないみどりの学園に在籍し続ける人たちも対象にする必要があるのかっていうのは、どうなんでしょうか。うん。

委員長：いかがですか。

委員：はい。前回の時に全然誰かわからなかったですけど、みどりの学園義務教育学校と新しくできる学校の制服をきっちり分けて欲しいというご意見があったんですけど、私はどうなのかなって思っているんで、できれば、その新しい学校に通う人の意見を聞きたいので、そっちメインのターゲットにさせていただいた方が、より良いかなと思います。

委員：はい。お願いします。保護者と考えてっていうのは全然構わないんですけども、複数いる場合は、どういうカウントになるんですか。例えば2人兄弟がいたら、家庭で1なのか、それとも兄弟で2なのか。それ如何によっては、それこそ南小の意見がもっと減っちゃうので、50票ぐらいしかなくなっちゃうんで。その辺も含めた上で、当然支払いをする保護者が入るってのは、私も賛成なんですけど、そこをちゃんと決めておいたほうがいいのかな、あくまでも家庭で1つなのか、子供1人に対して1つなのか、ちょっとそこだけをお願いします。

事務局：今画面見ていただいているのが研究学園で、複数名いる場合は、学年をすべてチェックしていただいて、どんなにお子さんがいても1家庭1回ということでやっています。それと、この後に住所を選ぶようになってい

ますので多分、みどりのの中で行かれる地域の方だけやるっていうのも大変な話なのと子供さん無邪気なので、私もらってないっていうことになるのもどうかと思うので、それであれば、同じように、住んでいる地域を選んでいただいて、その結果、該当新しい学校の学区に住んでいる人だけ後で抽出して、その結果をもとにやるかっていうことなのかなとは思いますが。地域を選ぶようにしてありますので、この人は行く地域の人、この人はみどりのに残る人っていうのが、後で集計の結果わかると思うので、そこで、最後に判断するかだとは思いますが。

委員：はい。無茶苦茶にして申し訳ないんですけど、もちろんお金出すのは親なんですけど、着て行くのは子供なので、私的には、子供だけの意見も聞きたい。なぜかという、制服を変えるとかっていうのは、生徒会が動いて変わったりとかっていうこともあるので、子供だけの意見も、私的にはどういうふうに思ってるのかなっていうのを聞いてみたいと思います。

委員長：出てきたものを別々に集計することは可能ですからね。今回のように、子供、保護者、地域の人っていうような、その集計の仕方はできると思うので、子供だけの意見、あとご家庭の意見ということで、集計結果を出していただく。それから地域、全体でできた表と、行く地域ということで数値を出していただければ、それを参考に考えていくことは可能かなと思うので、今言ったような実施方法もありかなって思いますけれども。いかがですか。分けられればご家庭の意見も聞く。子供の単独の意見も聞いてみるということは可能だと思いますが、はいお願いします。

委員：すいません。アンケートは制服もジャージも、1年生から9年生子供たちにとるといふことの認識でよろしいですか。今のお話ですと。私としては、その判断、例えばジャケットスカートで1年生がそれを判断できるかという、それは非常に厳しいと思うんですね。そこに子供の主体があるかっていうと、多分、勘で選ぶとか、スカートがいいよとってっていうので

聞いて1年生なんか選ぶのが想像できます。子供たちの一人一人の意見ということで、大事にするのであれば、保護者も一緒に考えていただく、そこは保護者と子供が会話が生まれて、意見が出ると思うので、その保護者を通して、子供の人数分集めた方が僕はいいのかなと思います。1家庭1にするのか、保護者と子供を通して、子供の人数にするのかということで多分1家庭で3、4票、QRコードで入れてくる保護者もいると思うんです。はい。そういうのを避けるためには公平性ということで、避けるためにやっぱり何年、何組、何番ということで今の学校で入力していただいて、そうすると1人1票が確実に出るので、ソートができますかそれって。同じものの番号については消去していただくとか。そういう形であれば1人1票。家庭でも、もう一緒に相談した上での1票が出てくるので、1人。1票ということにするのか家庭1票なのか。はい家庭1票であれば、どうなんでしょうかね。その1人1票というところの部分をしっかり持つんであればその辺までやった方がいいのかなと私は思いました。

委員長：ご家庭の意見ならば、小学校1年生の子ども、ご家庭のお父さん、お母さんがご説明しながら、答えるって。それを1年生も含めて、答えてもらうってことですね。はい。いかがですか。

委員：小学生だから答えちゃいけないんじゃないかと、それで保護者と一緒に相談しながら、これがいいんであればいいねっていう会話が大事だと思う。

委員長：いかがでしょうか。よろしいですか。

事務局：よろしいですか。今のお話だと、お子さんが3人いらっしゃる家族だと4票全部作るんですよ。子供3人と家庭で1票ですから。4票になりますよね。このアンケート、先ほど言ったように制服・体操服ですから、小学校1年生に制服・体操服のアンケートをお母さん、お父さんが教えながら、アンケートをやってくれるっていうことが、どうなのか。本当にやってくれるのか、いや、これでいいかなと親御さんが入れちゃったらそれ

までなので、結果がわからないんですよ。それを本当に、今言ったように、1年生2年生に制服のアンケートをとって、親御さんがちゃんと説明してやってくれるっていうのがあるかどうか、1票ずつやるっていうそういうことになると思うのでデータは確かに出ます。でもそのデータが本当にお子さんがやったかっていうのは、こちらではわからない。お父さんが全部やってしまったらそれまでなので、そういったことがわからないアンケート結果にはなる可能性は出てきます。

委員長：どうなんですかね。研究学園ってちなみにどんなふうにとったんですか。

事務局：研究学園はここに書いてある通り。各家庭で1つ。1年生も、お子さんが1人だったら学年1つしかチェックしないんですけど3人いればどの学年か全部チェックします。ていうことですかね。

委員長：だけどこれも、親が勝手に答えたっていうこともあるんですよ。もちろんね。子供が何人いるか家庭で相談なので、そのうちの意見としてはこれですようちの意見として出てくるってことですよ。はい。

委員：それであれば、この今、ちょうど1年生から3年生と4年生から9年生で分かれているので、4年生から9年生であれば、ある程度の判断はできると思うので、そこについては、子供1票。1年生から3年生については保護者と、世帯で1票というような形はどうでしょうか。1年生から3年生までの世帯の1年生から3年生は保護者一緒に検討して、家庭として1票。それ以上は子供の意見も合わせてとってみる。で購入してくれる保護者の意見も取る。そうですね当然1年生から3年生に保護者がいなければ、ただ逆に1年生から3年生に保護者がいる家庭については、保護者の回答はしない。あくまで家庭として出す。逆に保護者の方は、1年生から3年生の子はこちらに答えてくださいっていうような形にして、4年生から9年生は、特にね、6年生から9年生に関しては実際もう目の前に迫っ

ている、自分たちが着るもののお話なので、ある程度その子供達の意見も聞いてもいいんじゃないかなと思うので。そういう今ここでたまたま1から3と4から9って分かれてたので、4から9については、子供たちの意見を取る。1から3については、保護者として、出してもらおう。それでどうでしょうか。4から9は、保護者の意見。聞くけど1から3と重複しないように聞く。そこについては家庭のこともあると思うんで何とも言えませんけども、あくまでも4から9年生については、子供たちに直接アンケートをとって、1から3年生については保護者の回答の中に入れてもらうようなイメージということ。

委員：今のお話を総合すると、おそらく保護者にはまず一旦投げかける。4年生から9年生には子供にも投げかけるということになれば、必然的に1から3年生は、保護者と一緒にしか回答ができない。ということになるので、今おっしゃったことが成立するのかなと思います。もう一つ、私がちょっと感じたこととしては、多分この1から3年生、4から9年生という分け方は、ふりがなを振る振らないってところで分けたものなんじゃないかなと思うんですが、つくば市の小中一貫の観点からすると、1から4年生までが前期課程で、5年生から9年生が後期課程というふうになっているので、その分け方でいうと、5年生以降に児童生徒に回答させるというのが、何となく気持ち的にはいいのかなというふうには感じました。

委員長：はい、お願いします。

委員：あと、先ほどデジタルだと投票数が少ないということなので、学校でそれこそ先生がおっしゃった5年生から上の学年は必ずきちっと1台持っていますのでパソコンを。そこで回答させてもらおう。そうすれば必ずアンケートが取れると思います。うちの子供たち、実は校章のアンケートをしていません。手紙はもらってきたんですけど、結局やらなくて学校でも何も言われなかったし、プリント配られたただだからってことで、やりなき

いよと言ったんですけど。やってないので、そういうこともあるので学校でちょっと時間を作ってもらって休み時間とかにするようにしてもらえば、必ず票数は増えるのかなっていうふうに思います。

委員長：はい。指導のもと、やるということですよ。それは、どこかでは可能かなとは思いますが。はい。全体、全保護者宛にアンケートを実施する。区切りは難しいと思うんですけどどこかで区切って、子供単独のアンケートは取るということになりますね。区切りはですね今、小中一貫教育は区切りないので、1年生から9年生まで区切りがないので、この制服アンケートについての区切りをどこかでつけるというイメージで実施できればと思います。その区切りについては、妥当なところはちょっと今わかりません。はい。もう前期課程6年、後期課程3年っていうとり方もあるし、もう今から着ようと思っている子たちも含めると、やっぱり1から3の4以降っていうのは、科学的な根拠はないけど、妥当かなって思います。はい。1から3と4から9でアンケート実施そこに分け目があるっていうのがいいかなって思うんですけどね。いかがですかね。今回のアンケートと同様の区切りっていうことになります。それでよろしいでしょうか。はい。

事務局：はい。事務局です。先ほどのお話にあった、児童生徒さんが学校の授業の一環とか、タブレットを使ってアンケート回答するっていうことになりますと、タブレットの方の Teams とかを使って集計の方を行っていただくことになると思うんですけども、前回のデザインアンケートの方は GoogleForm の方でこちらで作らせていただいてやらせてもらったんですけどちょっと Teams の方だとこっちは作ることができなくて、保護者さん全員に取るアンケート、こちらは GoogleForm で作ることとなれば、こちらから皆さんに確認して、修正案等反映した形でアンケートをかけることできるんですけども、4年生から9年生にかける子供がタブレットで投票するものに関しては、学校さんなり、こちらのちょっと機関の方で協力をしてい

ただいて、作ることにあります。

委員長：紙じゃ駄目なんですか。じゃなかったら、GoogleForm の URL でも QR コードでも送ってもらって、子供はそこから入ってアンケートさせればいいんじゃないですかね。別に Teams じゃなくてもできますよね。子どもがタブレットで GoogleForm できますもんね。例えば QR コードをもらっておけば、今からこれちょっと写真撮ってそこから入ってって言えば、入れちゃうと思いますけど。

事務局：それであれば、こちらで GoogleForm でホームの方を作って、その QR コードを学校さんに配布しますので、それを学校の中でやっていただけるのであれば問題はないです。

委員長：その方が楽だと思います。はい。

委員：そういう根本的な話を聞いて申し訳ないんですけど、谷田部中学校に行くと、アンケート取っているんですか。

事務局：はい。谷田部中学校の今の谷田部南小学校の学区の方で取ってます。

委員：今回も同じように取る形ですよ。それってどうやって周知しているんですか。学校でお願いしてやってもらっているとか。

事務局：そちらの方に関しましては個別で郵送の方で対応させていただいてます。

委員：今回も同じようにやっていただけるってことですね。ありがとうございます。

委員長：あと確認することありましたっけ。

事務局：はい、事務局です。確認なんですけども、アンケートの詳細については、対象につきましては、まず1から9年生の保護者全員に、こちら電子申請でまたやっていただくのと、4年生から9年生に関しましても、同じように、電子申請の方で回答していただく。期間につきましては、この4年生から9年生用のホームと保護者用のホームの2つを皆様に確認してい

ただいて、その修正が終わって次の委員会までの期日内で、こちらで調整するような形で設定してもよろしいでしょうか。

委員長：はい。そうです、そうなりますね。アンケートの対象ですけど、1から3年生は子供がやらないので、その1から3年生のいる保護者さんは、子供とよく話し合っていていただいて、やる。4から9年生の子供は自分でやるのと、4から9年生の保護者さんは、保護者が自分の意見でできるってことですよね。いうことでいいんですよね。だから、1から3年生と4から9年生両方の子供がいる保護者さんは、下の子と話し合いながらやってもらうってことですよね。家庭1つと4年生から9年生は個別に取る。そうですね。はい。

事務局：はい、事務局です。2番の制服・体操服につきましては、以上のような形で進めていければと思います。議事の方は今日これにて終了となりまして3番ですね。今回その他ということで、次回の委員会の方からですね新年度ということで、新しい学校の方にも新1年生の保護者さんも入ってこられるってことで、新しい準備委員の方の募集をするかどうかということについてなんですけども、こちらの方は、どうされますか。新しい準備委員の方の募集をかけるとなると今回アンケートの方も同時に進行していくんですけども、それとは別で、谷田部南小さんとみどりの学園さんにまたご協力いただいて、その準備委員の方をやりたい方ってのを募集していただいて、大体期間の方とか2、3週間とかで見ていただいて、こちらの方から就任依頼という形でかけさせていただくので大体1ヶ月ほど見ていただきたいと思っているんですけども、いかがされますか。

委員：4月から人事異動とかもあって、メンバーの皆様が代わられたりする可能性があると思うので、追加とかした方が良く私は思います。

事務局：事務局です。募集する、しないということと、募集する期間なんですけども、それぞれ各学校さんの方にお任せするような形になるのでここで

決めなくても、問題はありません。募集していただいて、もしそのやりたいという方がいて、準備委員の方に、入るってことになりましたら、その時は事務局の方にご連絡をいただければ、こちらの方からちょっと準備の方進めさせていただいて、次回の委員会等に間に合うようであれば、そこから参加していただくということにしたいと思いますので、今日ここで決めなくても大丈夫です。準備委員の募集については以上となりまして、最後ですね。次回の委員会の日程なんですけどもアンケートの修正等とかが入って、アンケート期間が短くなることはちょっと避けたいので、こちらの日程については後日調整という形でもよろしいですか。

委員長：はい。

事務局：次回の日程につきましては、また後日連絡させていただくということで、それでは、これにて第7回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校の開校準備委員会の方を終了させていただきます。皆さんありがとうございました。

4 閉会